

組織・グループ名	横須賀市社会福祉協議会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援 ・ 福祉の学び推進 ・ 地域福祉ニーズ(課題)対応 ・ 地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕

助成事業名	ふれあいキャンプ
-------	----------

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

〔目的・内容〕① ふれあいキャンプ
知的障害のある子どもとボランティアが一泊で交流し、子どもは社会性を身に付け、ボランティアは障害への理解を深め新たな活動のきっかけとします。

② ふれあいキャンプ実行委員会
(5月18日から8月24日まで毎週土曜日に開催)
学生が実行委員として運営に携わり、ボランティアリーダーとして成長する。「事前学習→企画・準備→実践→振り返り」を主体的に取り組む

〔日程〕令和元年8月17日(土)・18日(日)
一泊二日

〔会場〕鴨居コミュニティセンター

〔参加人数〕知的障害のある子ども23人、ボランティア40人、運営ボランティア79人

今年ふれあいキャンプは、初参加の実行委員の比率が高かったにもかかわらず、毎週の実行委員会は活発な意見を交し、生きのいい企画がいくつも生まれ、参加者から高評価を得た。

さらに子どもに参加経験がある高校生が多く、円滑な当日運営ができたことで、継続の効果を実感した。

他方、猛暑でウォークラリーが実施できず、屋内の冷却や、子どものエネルギーのはけ口に苦労した。

次年度は、実行委員経験者の多くが受験や実習と重なり参加できないため、初参加の実行委員でプログラムを作っていくことになるが、過重負担にならないよう注意が必要。

子どもは、高校生が卒業し小学生の比率が高くなっていくため、注意事項が多くなる。運営ボランティアの層を厚くする必要がある。

経験者が定着して初めて、年度を超えた育成が可能となる。また参加したいと思える魅力あるふれあいキャンプを目指します。

